

【保護者の皆様、地域の皆様】

昨今、教員の多忙化が世間の注目を浴びています。教員の抱える膨大な職務によって、教員自身の健康上の問題もさることながら、子ども一人一人と向き合う時間の確保が難しくなっていることに、皆様にご心配をおかけする原因となっていることと存じます。

そこで、毎年2年の実施期間をもって、教員の多忙化を少しでも改善しようと検討・実施を進めて参ります。ここにその計画と自己評価結果をを公開いたしますので、ご意見などがありましたら、学校までお寄せ下さいますよう、お願いいたします。

No	項目	現状と課題	①H31年度に実施する内容 ②令和2年度に向けて検討する内容	令和2年度に目指すべき状態	達成状況
1	会議等の効率化	職員会議等、事前に資料を配付し既読して会議に臨む。連絡事項と検討事項を分けて、時間短縮に努めている。会議資料を電子データ化し、ペーパーレスによる会議を実現した。	① 会議資料等の電子データによる共有化の徹底(掲示板の活用) ② 会議での提案内容や方法を簡潔に統一	設定時間内に終了できることを目指す。	B
2	学校行事の負担軽減	学校評価等から出た意見を検討し、改善に努めている。	① 校内行事等の内容の検討。(継続) ② 早めの計画立案・提案で準備に余裕を持たせる。(継続)	内容が重複する行事を検討し、スリム化を図る。(継続)	B
3	校内組織の見直し	一人が複数の分掌に関わっている。	① 主担当、副担当の役割の明確化(継続) ② 業務の平準化を図る。(継続)	より実効性・実用性のある組織とする。(継続)	B
4	業務の効率化	共有ファイルボックスを利用し、分掌・担当等の資料・情報検索ができるようにしている。保存のためのファイル名に規則性が無いので、目的のファイル到達へのユニバーサルデザインが無い。	① ファイル名の規格化に向けた組織作り。 ② ファイル名の規格化の実践。	共有ファイルボックスの活用を中心に、資料・情報等の共有化を図る。 元号表記の統一、ファイル名の規格化。	B
5	地域人材の活用	国母地区見守り隊、学習支援ボランティア、読み聞かせボランティアを活用している。	① 地域人材確保に向けての活動を行う。(継続) ② 地域人材リストの整備(継続)	ボランティアメンバーの増員を増やす。(継続)	B
6	(学校独自の項目)	多忙な教育活動の中で職員は懸命に職務に取り組んでいる。日々の勤務時間も超過し、それによる疲労の蓄積は少なくない。少しでも心に余裕が持てるような取組を構築していきたい。	① 学びの甲斐八か条に呼応し、毎月8のつく日は、教職員の振り返りの日として、定時退勤を実施。遅くも18時には全員退勤する。(継続)	心身共に健康で充実した勤務環境を目指す。(継続)	B

到達度の評価については、達成状況をA～Dの4段階で評価し、各年度末に市町村教育委員会へ提出することになっています。